



公開制作

**制作予定サイズは、高さ 3m70cm、幅 5m80cm、奥行き 3m80 cm
現代美術家の田原唯之さんが、公開制作で巨大な‘箱根山’をつくります！**



— 展示作品 —

【タイトル】未定 ※公開制作中に決定します。

【素材】 油粘土、垂木、スタイロフォーム

【サイズ】 高さ 370×幅 580×奥行き 380cm ※サイズは目安となります

【公開制作】8月25日（日）～9月3日（月）の約10日間 <予定>

※展示期間は10月28日（日）まで <予定>

田原唯之さんは、風景をあらゆる角度から見つめ直し、そこに潜む複数の場所性を同時に浮かび上がらせることを主題に制作しています。本展示では、「としまミュージアム」(2016年)で発表した《可塑的鉱物都市研究》を新たに展開させる予定で、巨大な粘土の塊による‘箱根山’を会場いっぱいに設置します。古くより、様々な媒体でモチーフとなってきた箱根の山を多角的に捉えながら、その様相を油粘土の立体として立ち上げ、約10日間の公開制作で田原さんの‘箱根山’をつくり上げます。



田原唯之さん

【略歴】

1981 東京都生まれ
2007 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業
2005-2006 ミラノ工科大学 Politecnico di Milano 在籍

【主な展示】

2013 六甲ミーツアート芸術散歩 2013 (兵庫)
2014 Folly Trial - 平成 26 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 - (東京)
2016 としまミュージアム (東京)
2017 自然と交歓する芸術祭 松戸アートピクニック (千葉)

【主な受賞・助成】

2007 あわら市環境アートコンペ グランプリ
2014 平成 26 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
2016 KEAT 小砂環境芸術祭 2016 大賞

【主なレジデンス・ワークショップ】

2010 小豆島アーティスト・イン・レジデンス (香川)
2015 Treasure Hill Artist Village (台湾・台北)
2016, 2017, 2018 基隆山海工作營 (台湾・基隆)

**制作の様子を見たり、作家から話を聞くこともできます。
(お話しする場合は、制作の差し障りのない範囲としてください)**

ワークショップ

田原さんの‘箱根山’に、ワークショップ参加者の‘箱根山’が合体！

完成した作品は10月28日（日）＜予定＞まで、彫刻の森美術館本館ギャラリーに展示します。

「ねんどで箱根山をつくろう！」

【開催日】2018年9月15日（土）、16日（日）の2日間

【時間】①11:00～12:00 ※受付時間9:30～

②14:00～15:00 ※受付時間12:30～

【会場】彫刻の森美術館 本館ギャラリー

【協力】CECのねんど 中部電磁器工業株式会社

【定員】各回20名（当日先着順）

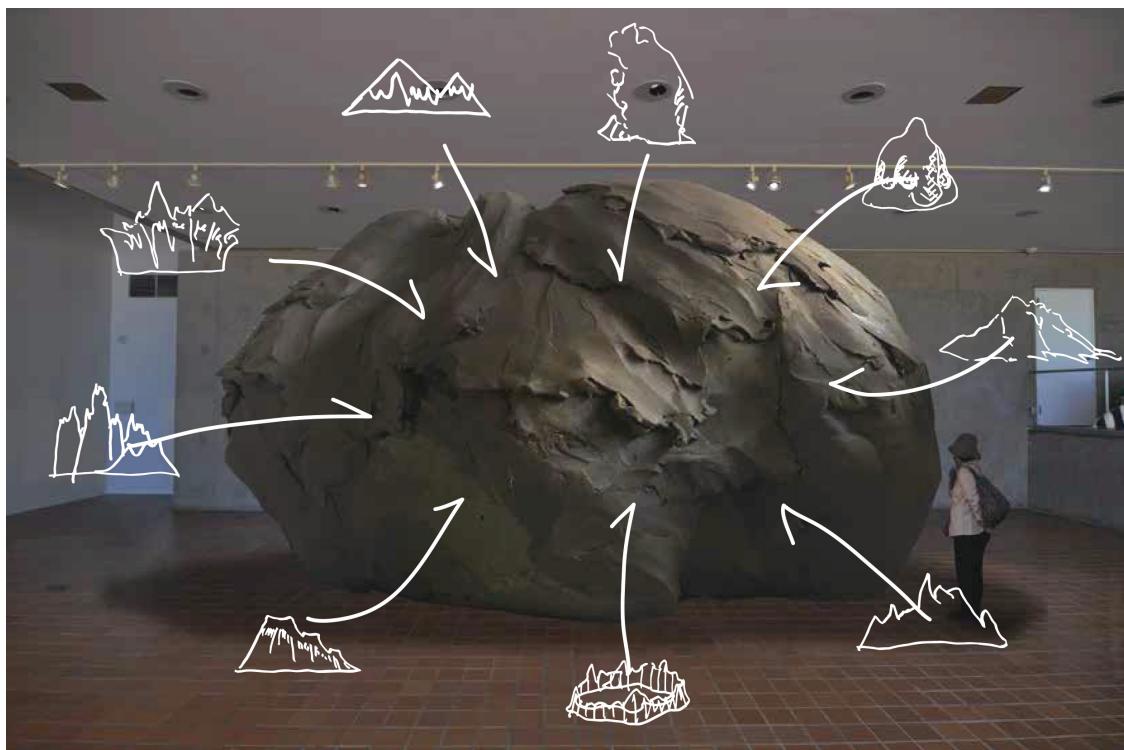
【参加費】無料

※制作した作品は展示作品の一部になるため、お持ち帰りいただけません。

作家によるレクチャーの後、参加者がイメージする‘箱根山’を油粘土で制作します。そしてそれらの作品を、田原さんの展示作品と合体させます。作家の作品制作に参加できる、またとない機会となります。



イメージ：「石仏群」のように参加者の‘箱根山’を配置します。



イベント内容や詳細に関するお問い合わせ、取材のリクエスト、および掲載用画像の請求は下記までお願いいたします。